

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第1項

【提出先】 関東財務局長

【提出日】 平成25年12月13日

【四半期会計期間】 第12期第2四半期(自 平成25年8月1日 至 平成25年10月31日)

【会社名】 株式会社ビューティガレージ

【英訳名】 BEAUTY GARAGE Inc.

【代表者の役職氏名】 代表取締役CEO 野村 秀輝

【本店の所在の場所】 東京都世田谷区桜新町一丁目34番25号

【電話番号】 03 - 5752 - 3897

【事務連絡者氏名】 執行役員 経営管理グループ統括責任者 伊藤 雅之

【最寄りの連絡場所】 東京都世田谷区桜新町一丁目34番25号

【電話番号】 03 - 5752 - 3897

【事務連絡者氏名】 執行役員 経営管理グループ統括責任者 伊藤 雅之

【縦覧に供する場所】 株式会社東京証券取引所
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

第一部 【企業情報】

第1 【企業の概況】

1 【主要な経営指標等の推移】

回次		第12期 第2四半期 連結累計期間	第11期
会計期間		自 平成25年5月1日 至 平成25年10月31日	自 平成24年5月1日 至 平成25年4月30日
売上高	(百万円)	3,081	5,288
経常利益	(百万円)	46	333
四半期(当期)純利益	(百万円)	28	190
四半期包括利益又は包括利益	(百万円)	28	190
純資産額	(百万円)	1,121	1,116
総資産額	(百万円)	2,122	2,083
1株当たり四半期(当期) 純利益金額	(円)	23.71	176.26
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益金額	(円)	23.53	173.74
自己資本比率	(%)	52.8	53.6
営業活動による キャッシュ・フロー	(百万円)	55	42
投資活動による キャッシュ・フロー	(百万円)	42	104
財務活動による キャッシュ・フロー	(百万円)	25	195
現金及び現金同等物の 四半期末(期末)残高	(百万円)	602	556

回次		第12期 第2四半期 連結会計期間
会計期間		自 平成25年8月1日 至 平成25年10月31日
1株当たり四半期純利益金額	(円)	9.95

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。
3. 平成24年10月2日付で1株につき200株の株式分割を行いました。第11期の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり当期純利益金額及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額を算定しております。
4. 当社は、第11期第2四半期連結累計期間においては四半期連結財務諸表を作成していないため、第11期第2四半期連結累計期間に係る主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

2 【事業の内容】

当第2四半期連結累計期間において、当社グループ（当社および当社の関係会社）が営んでいる事業の内容に重要な変更はありません。

また、主要な関係会社の異動は、以下のとおりであります。

（その他周辺ソリューション事業）

前連結会計年度末において当社の連結子会社であった株式会社ムサシを平成25年5月1日付で当社に吸収合併しております。また、平成25年5月1日付けで、新規設立により株式会社サロンキャリア（連結子会社）を連結の範囲に含めております。

この結果、平成25年10月31日現在では、当社グループは、当社、子会社2社により構成されることとなりました。

第2 【事業の状況】

1 【事業等のリスク】

該当事項はありません。

2 【経営上の重要な契約等】

当第2四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

3 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループが判断したものであります。

なお、前第2四半期連結累計期間においては四半期連結財務諸表を作成していないため、前年同四半期との比較分析は行っていません。

(1) 業績の状況

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府による経済政策や日本銀行の金融施策への期待感から株価の上昇など、一部に明るい兆しがみられました。しかしながら、来春の消費税引き上げによる消費者マインドの低下など依然として先行き不透明な状況が続いております。

当社グループが事業を展開する美容サロン業界におきましても依然として消費者マインドの冷え込みから厳しい経済環境が続いていることから、経済的な商材仕入れルートの確保や効果的な集客方法を検討・実施の重要性がさらに高まっております。特に美容室における新規開業店舗数は増加傾向にあり、店舗間の競争はさらに激化しております。

そのような状況下、当社グループでは平成25年6月にプロ向け美容商材ショールームとしては日本最大級の「東京本社総合ショールーム」を開設し展示品数の大幅な充実を図るとともに、商品をお買い上げいただける「BGストア」や、開業と経営の情報ステーション「BGラウンジ」を併設いたしました。

また、最大の販路であるプロ向け美容商材インターネット通販サイト「BEAUTY GARAGE Online Shop」の徹底した利便性向上を迫及したサイト運営や商品ラインナップ拡充の強化に努めました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は3,081,013千円と堅調に推移しました。

しかしながら、物販事業における円安の影響、利益率の高い中古商品売上高比率の低下、店舗設計事業において競争力のある契約価格を提示することで新規顧客の開拓に努めたことなどにより原価率が上昇し売上総利益は当初予想値を下回る1,028,047千円となりました。

売上総利益率の低下に伴い、人件費削減などの販売費及び一般管理費の圧縮も鋭意進めておりますが、当社は未だ成長過程にあることから、今期は美容業界向け流通市場におけるマーケットシェア獲得を最優先課題としており販売促進への積極的な投資が中長期的な事業規模拡大を実現するためには重要であると判断し、販売費及び一般管理費におきましては概ね予想値どおりとなったことから営業利益56,714千円、経常利益46,731千円、四半期純利益28,025千円となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

物販事業

販路別ではプロ向け美容商材インターネット通販サイト「BEAUTY GARAGE Online Shop」を經由した売上高が順調に伸びているほか、商品別ではストック型収益商材である化粧品や消耗品の売上高が堅調に伸ばいたしました。

さらに、今年度は美容業界向け流通市場のマーケットシェア獲得を最重要課題と位置付け業界内における知名度向上を目的として販売促進策への積極的な投資を実施いたしました。

平成25年5月には美容業界最大のイベントである「BEAUTY WORLD JAPAN 2013」に出展したほか、平成25年10月には関西で開催された「BEAUTY WORLD JAPAN WEST 2013」にも出展いたしました。

また、カタログ通販誌「BG STYLE」を前号よりも80ページ増やした過去最多の482ページに内容を充実させた上、印刷部数も増刷しカタログ販売の強化を図りました。

この結果、当事業の売上高は2,323,341千円、セグメント利益は145,283千円となりました。

店舗設計事業

店舗設計事業におきましては、連結子会社である株式会社タフデザインプロダクトにより店舗設計・工事施工監理を提供しております。

当社グループの総合力を活かし、従来受注案件の多くを占めていた小型・個店案件に加えて大手サロン案件の獲得を目指し、競争力のある契約価格を提示することで、新規顧客の開拓に努めたことから当事業の売上高は636,582千円、セグメント利益は23,706千円となりました。

その他周辺ソリューション事業

その他周辺ソリューション事業におきましては、ビューティサロンの開業と経営に必要な不動産物件仲介サービスや集客支援サービス、e-ラーニングサービス等の各種ソリューションサービスを、各専門インターネットサイトと全国主要都市10ヶ所のショールームを通して提供しております。

また、さらなるサービスラインナップの充実を目的として、平成25年5月には美容業界初の完全成果報酬型求人サイト「salon career」の運営を目的に連結子会社株式会社サロンキャリアを設立し、人材支援サービスの強化を図りました。当第2四半期連結会計期末時点で求人掲載数は5,000件を超え順調に推移しましたが成約件数につきましては未だ少ないことから収益化には至っておりません。

この結果、当事業の売上高は121,089千円、セグメント損失は18,999千円となっております。

(2) 財政状態の分析

(流動資産)

当第2四半期連結会計期間末における流動資産は、前連結会計年度末に比べて0.3%減少し、1,871,869千円となりました。これは、主に商品の増加64,515千円があったものの、受取手形及び売掛金の減少35,065千円及び前渡金の減少68,730千円があったことによるものであります。

(固定資産)

当第2四半期連結会計期間末における固定資産は、前連結会計年度末に比べて21.2%増加し、250,926千円となりました。これは、主に有形固定資産の増加39,361千円によるものであります。

(流動負債)

当第2四半期連結会計期間末における流動負債は、前連結会計年度末に比べて3.0%減少し、844,825千円となりました。これは、主に賞与引当金の増加56,796千円があったものの、未払法人税等の減少53,992千円及び1年内償還予定の社債の減少10,000千円があったことによるものであります。

(固定負債)

当第2四半期連結会計期間末における固定負債は、前連結会計年度末に比べて62.9%増加し、156,886千円となりました。これは、主に長期借入金の増加43,056千円によるものであります。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末に比べて0.4%増加し、1,121,084千円となりました。これは、主に配当金の支払に伴い利益剰余金の減少23,640千円があったものの、当四半期純利益の計上に伴い利益剰余金の増加28,025千円があったことによるものであります。

(3) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末に比べ46,226千円増加し、602,856千円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況は以下のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、55,050千円となりました。これは、主に法人税等の支払額84,652千円があったものの、その他引当金の増加57,312千円、税金等調整前四半期純利益42,522千円の計上及び売上債権の減少35,065千円があったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、42,559千円となりました。これは、主に有形固定資産の取得による支出45,346千円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果得られた資金は、25,560千円となりました。これは、主に長期借入金の返済による支出40,960千円、配当金の支払額23,479千円及び社債の償還による支出10,000千円があったものの、長期借入れによる収入100,000千円があったことによるものであります。

(4) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期連結累計期間において、当社グループの事業上及び財務上の対処すべき課題に重要な変更及び新たに生じた課題はありません。

(5) 生産、受注及び販売の実績

生産実績

当第2四半期連結累計期間における生産実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	生産高(千円)
店舗設計事業	563,777

- (注) 1. セグメント間取引については、相殺消去しております。
2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。
3. 金額は製造原価によっております。

仕入実績

当第2四半期連結累計期間における仕入実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	仕入高(千円)
物販事業	1,570,964
その他周辺ソリューション事業	50,859
合計	1,621,824

- (注) 1. セグメント間取引については、相殺消去しております。
2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。
3. 金額は仕入価格によっております。

受注実績

当第2四半期連結累計期間における受注実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	受注高(千円)	受注残高(千円)
店舗設計事業	616,571	119,717

- (注) 1. セグメント間取引については、相殺消去しております。
2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

販売実績

当第2四半期連結累計期間における販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	販売高(千円)	
	区分	
物販事業		2,323,341
	理美容機器	1,785,314
	化粧品等	538,027
店舗設計事業		636,582
その他周辺ソリューション事業		121,089
合計		3,081,013

- (注) 1. セグメント間取引については、相殺消去しております。
2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

第3 【提出会社の状況】

1 【株式等の状況】

(1) 【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	4,232,000
計	4,232,000

【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間 末現在発行数(株) (平成25年10月31日)	提出日現在 発行数(株) (平成25年12月13日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	1,182,000	1,182,000	東京証券取引所 (マザーズ)	単元株式数は100株 であります。
計	1,182,000	1,182,000		

(2) 【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4) 【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
平成25年10月31日		1,182,000		262,320		213,587

(6) 【大株主の状況】

平成25年10月31日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
野村 秀輝	東京都世田谷区	404,000	34.17
供田 修一	東京都杉並区	168,000	14.21
日本マスタートラスト信託銀行 株式会社(信託口)	東京都港区浜松町二丁目11番3号	66,900	5.65
野村 貴久	石川県金沢市	64,000	5.41
HSBC FUND SERVICES A/C 006JF (常任代理人 香港上海銀行東京支店 カस्टディ業務部)	LEVEL 13, 1 QUEEN'S ROAD CENTRAL, HONG KONG (東京都中央区日本橋三丁目11番1号)	56,300	4.76
樺島 義明	東京都世田谷区	56,000	4.73
勝 憲司	東京都港区	40,000	3.38
JP MORGAN CHASE BANK 380084 (常任代理人 みずほ銀行決裁営業部)	125 LONDON WALL, LONDON, EC2Y 5AJ, UNITED KINGDOM (東京都中央区月島四丁目16番13号)	27,900	2.36
山本 陽一	東京都渋谷区	24,000	2.03
ビューティガレッジ従業員持株会	東京都世田谷区桜新町一丁目34番25号	21,400	1.81
計		928,500	78.55

(注) 次の法人から、平成25年5月21日に大量保有報告書の写しの送付があり(報告義務発生日 平成25年5月15日)、次のとおり株式を所有している旨の報告を受けておりますが、当第2四半期会計期間末における実質所有株式数の確認ができませんので、上記大株主の状況には含めておりません。

氏名または名称	住所	保有株券等の数 (株)	株券等保有割合 (%)
JPモルガン・アセット・マネジメント株式会社	東京都千代田区丸の内二丁目7番3号	81,600	6.90
ジェー・ビー・モルガン・アセット・マネジメント(台湾) (台湾)リミテッド	中華民国、110 台湾、台北、シンイ区、ソ ンジ・ロード1号、20階	10,400	0.88

なお、同社から平成25年12月5日に変更報告書の写しの送付があり(報告義務発生日 平成25年11月29日)、次のとおり株式を所有している旨の報告を受けております。

氏名または名称	住所	保有株券等の数 (株)	株券等保有割合 (%)
JPモルガン・アセット・マネジメント株式会社	東京都千代田区丸の内二丁目7番3号	76,700	6.49

(7) 【議決権の状況】

【発行済株式】

平成25年10月31日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等)			
完全議決権株式(その他)	普通株式 1,181,600	11,816	単元株式数は100株であります。権利内容に何ら限定のない当社における標準となる株式であります。
単元未満株式	普通株式 400		
発行済株式総数	1,182,000		
総株主の議決権		11,816	

【自己株式等】

該当事項はありません。

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

第4 【経理の状況】

1 四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第64号)に基づいて作成しております。

なお、前第2四半期連結累計期間(平成24年5月1日から平成24年10月31日まで)においては四半期連結財務諸表を作成していないため、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び四半期連結キャッシュ・フロー計算書に係る比較情報は記載しておりません。

2 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間(平成25年8月1日から平成25年10月31日まで)及び第2四半期連結累計期間(平成25年5月1日から平成25年10月31日まで)の四半期連結財務諸表について、有限責任監査法人トーマツにより四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】
(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年4月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年10月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	562,029	602,856
受取手形及び売掛金	392,458	357,393
商品	678,618	743,133
仕掛品	12,240	9,746
その他	240,750	167,316
貸倒引当金	9,522	8,576
流動資産合計	1,876,575	1,871,869
固定資産		
有形固定資産	39,722	79,084
無形固定資産		
のれん	2,648	1,589
ソフトウェア	34,071	33,023
その他	116	116
無形固定資産合計	36,836	34,729
投資その他の資産	¹ 130,536	137,112
固定資産合計	207,095	250,926
資産合計	2,083,670	2,122,796
負債の部		
流動負債		
買掛金	339,321	337,564
1年内返済予定の長期借入金	61,720	77,704
1年内償還予定の社債	10,000	-
未払法人税等	87,178	33,185
賞与引当金	20,675	77,471
製品保証引当金	10,630	11,712
受注損失引当金	21	538
資産除去債務	4,969	-
その他	336,125	306,649
流動負債合計	870,642	844,825
固定負債		
長期借入金	50,560	93,616
ポイント引当金	23,839	25,540
資産除去債務	9,673	23,851
その他	12,256	13,878
固定負債合計	96,329	156,886
負債合計	966,971	1,001,712

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年4月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年10月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	262,320	262,320
資本剰余金	213,587	213,587
利益剰余金	640,792	645,177
株主資本合計	1,116,699	1,121,084
純資産合計	1,116,699	1,121,084
負債純資産合計	2,083,670	2,122,796

(2)【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】
【四半期連結損益計算書】
【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年5月1日 至平成25年10月31日)
売上高	3,081,013
売上原価	2,052,966
売上総利益	1,028,047
販売費及び一般管理費	¹ 971,332
営業利益	56,714
営業外収益	
受取利息及び配当金	73
破損商品等弁償金	920
その他	1,193
営業外収益合計	2,187
営業外費用	
支払利息	874
為替差損	10,866
その他	429
営業外費用合計	12,170
経常利益	46,731
特別利益	
固定資産売却益	90
特別利益合計	90
特別損失	
本社移転費用	4,300
特別損失合計	4,300
税金等調整前四半期純利益	42,522
法人税、住民税及び事業税	31,599
法人税等調整額	17,102
法人税等合計	14,496
少数株主損益調整前四半期純利益	28,025
四半期純利益	28,025

【四半期連結包括利益計算書】
【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

当第2四半期連結累計期間
(自平成25年5月1日
至平成25年10月31日)

少数株主損益調整前四半期純利益	28,025
四半期包括利益	28,025
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	28,025

(3)【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

当第2四半期連結累計期間
(自平成25年5月1日
至平成25年10月31日)

営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	42,522
減価償却費	18,745
のれん償却額	1,059
貸倒引当金の増減額（は減少）	2,485
ポイント引当金の増減額（は減少）	1,700
製品保証引当金の増減額（は減少）	1,081
その他の引当金の増減額（は減少）	57,312
受取利息及び受取配当金	73
支払利息	874
有形固定資産除売却損益（は益）	90
売上債権の増減額（は増加）	35,065
たな卸資産の増減額（は増加）	62,021
仕入債務の増減額（は減少）	3,682
未払金の増減額（は減少）	19,775
前受金の増減額（は減少）	3,037
その他	59,904
小計	140,540
利息及び配当金の受取額	107
利息及び保証料の支払額	944
法人税等の支払額又は還付額（は支払）	84,652
営業活動によるキャッシュ・フロー	55,050
投資活動によるキャッシュ・フロー	
定期預金の預入による支出	1,140
定期預金の払戻による収入	5,400
有形固定資産の取得による支出	45,346
有形固定資産の売却による収入	95
無形固定資産の取得による支出	9,733
敷金保証金の回収による収入	11,666
資産除去債務の履行による支出	2,720
その他	780
投資活動によるキャッシュ・フロー	42,559
財務活動によるキャッシュ・フロー	
長期借入れによる収入	100,000
長期借入金の返済による支出	40,960
社債の償還による支出	10,000
配当金の支払額	23,479
財務活動によるキャッシュ・フロー	25,560
現金及び現金同等物に係る換算差額	8,175
現金及び現金同等物の増減額（は減少）	46,226
現金及び現金同等物の期首残高	556,629
現金及び現金同等物の四半期末残高	¹ 602,856

【注記事項】

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年5月1日 至 平成25年10月31日)
(連結の範囲の重要な変更) 前連結会計年度末において当社の連結子会社であった株式会社ムサシは、平成25年5月1日付で、当社を存続会社とし、株式会社ムサシを消滅会社とする吸収合併を行ったことにより、第1四半期連結会計期間より連結の範囲から除外しております。 また、平成25年5月1日付で、株式会社サロンキャリアを新たに設立したため、第1四半期連結会計期間より連結の範囲に含めております。

(四半期連結貸借対照表関係)

1 資産の金額から直接控除している貸倒引当金の額

	前連結会計年度 (平成25年4月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年10月31日)
投資その他の資産	1,540千円	千円

(四半期連結損益計算書関係)

1 販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は、次のとおりであります。

	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年5月1日 至 平成25年10月31日)
給料手当	235,072千円
賞与引当金繰入額	51,786 "
貸倒引当金繰入額	1,030 "
ポイント引当金繰入額	19,378 "
製品保証引当金繰入額	11,351 "

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

1 現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係は、次のとおりであります。

	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年5月1日 至 平成25年10月31日)
現金及び預金	602,856千円
預入期間が3か月を超える定期預金	"
現金及び現金同等物	602,856千円

(株主資本等関係)

当第2四半期連結累計期間(自 平成25年5月1日 至 平成25年10月31日)

1 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成25年7月26日 定時株主総会	普通株式	23,640	20.00	平成25年4月30日	平成25年7月29日	利益剰余金

2 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当第2四半期連結累計期間(自平成25年5月1日至平成25年10月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	物販事業	店舗設計事業	その他周辺ソ リユーション 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	2,323,341	636,582	121,089	3,081,013		3,081,013
セグメント間の内部売上高 又は振替高	15,133	38,350	1,222	54,707	54,707	
計	2,338,475	674,933	122,311	3,135,720	54,707	3,081,013
セグメント利益又は損失()	145,283	23,706	18,999	149,990	93,275	56,714

(注)1. セグメント利益又は損失()の調整額 93,275千円には、セグメント間取引消去7,340千円、未実現利益の調整額 251千円、各報告セグメントに配分していない全社費用 100,364千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失()は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎並びに潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年5月1日 至平成25年10月31日)
(1) 1株当たり四半期純利益金額	23.71 円
(算定上の基礎)	
四半期純利益金額(千円)	28,025
普通株主に帰属しない金額(千円)	
普通株式に係る四半期純利益金額(千円)	28,025
普通株式の期中平均株式数(株)	1,182,000
(2) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額	23.53 円
(算定上の基礎)	
四半期純利益調整額(千円)	
普通株式増加数(株)	8,828
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額の算定に含めなかった潜在株式で、前連結会計年度末から重要な変動があったものの概要	

2 【その他】

該当事項はありません。

第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成25年12月11日

株式会社 ビューティガレッジ
取締役会 御中

有限責任監査法人 トーマツ

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 片岡久依

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 淡島國和

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社ビューティガレッジの平成25年5月1日から平成26年4月30日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間(平成25年8月1日から平成25年10月31日まで)及び第2四半期連結累計期間(平成25年5月1日から平成25年10月31日まで)に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社ビューティガレッジ及び連結子会社の平成25年10月31日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。

2 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。